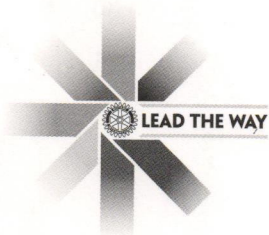


Rotary International District 2660

国際ロータリー第2660地区 地区委員会活動報告書 2006～2007年度



ガバナー 岩田宙造

目 次

1	地区委員会の皆様の活動に感謝して	1
2	地区ガバナー指名委員会	2
3	意義ある業績賞委員会	3
4	国際大会記念事業委員会	4
	クラブ奉仕部門	
5	クラブ奉仕・拡大増強委員会	5
6	情報・広報委員会	6
	職業奉仕部門	
7	職業奉仕委員会	7
	社会奉仕部門	
8	社会奉仕委員会	8
	青少年奉仕部門	
9	新世代合同委員長会議	9
10	青少年活動委員会	10
11	ローターアクト委員会	12
12	インターアクト委員会	14
	国際奉仕部門	
13	国際奉仕委員会	15
14	世界社会奉仕委員会	16
15	青少年交換委員会	17
	ロータリー財団部門	
16	ロータリー財団委員会	19
17	財団情報・増進委員会	20
18	財団奨学金・学友委員会	21
19	研究グループ交換委員会	23
20	財団人道的補助金委員会	25
	米山奨学部門	
21	米山奨学委員会	27
22	地区大会	29
23	ロータリーの友	30
24	財務委員会	31

地区委員会の皆様の活動に感謝して

ガバナー 岩田 宙造

今年度ウィリアム B. ボイド RI 会長は『Lead The Way 一率先しよう』をテーマに、親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために 120 万人のロータリアンが力をあわせて率先して行動し、人々が切に必要としている高潔さ、国際的な協力、ボランティア精神の模範を示すこと、またロータリーは個々の集まりで、多様性こそが強みであり、より良い未来を築くためには寛容の精神、違いに対する容認、高い倫理観が必要であることを強調されました。また、「ロータリーには重要な職責を持つロータリアンはいるが、他より重要なロータリアンはいない」と断言され、等しく一人一人の会員の活躍を期待しています。実用性を重んじ最も必要とされているところに努力を注ぐことを踏まえ、4つの強調事項、水保全、識字率向上、保健および飢餓、ロータリー家族を選ばれました。

これらのことを十分に理解し、地区委員としてその職務を認識し、各クラブとの情報を密に交換し、活動していただきました。その成果の一つとして半数近くのクラブが RI 会長賞を受賞し、提唱いただいたローターアクトクラブも同様に RI 会長賞を受けていただくことになりました。4つの強調事項に関連しては、WCS 事業、GSE、青少年交換、国際親善奨学生、米山奨学生等、数々の活動を通じて、超私の奉仕がなされ、その成果は素晴らしく、多くの人たちから高く評価され RI2660 地区としては大変誇りとするところであります。

また、近年 RI は地区組織の効果的な管理の枠組みとして地区リーダーシップ・プラン (DLP) を、ついでこの基本概念をクラブ・レベルに適用し効果的なクラブの管理的枠組みとしてクラブリーダーシップ・プラン (CLP) の採用を推奨し、クラブのより一層の発展を期待しています。DLP についてはガバナー補佐、地区委員会、地区研修委員会のご理解を得、各構成委員会の職責、活動等について文章化され、その効果的な運用が行われることになりました。また、CLP については地区大会で推奨することが決議され、それらの検討は必ずクラブの活性化につながるものと期待されています。

今年度ご活躍いただいた地区委員会の皆様に感謝いたしますと同時に、次年度新谷ガバナーの活躍と地区委員会の活動を期待し、素晴らしい RI2660 地区の発展を祈念いたします。

ありがとうございました。

地区ガバナー指名委員会

委員長 神崎 茂 (大阪西)
委員 寺田 和之 (大阪)
同 井上 暎夫 (千里)
同 若林 紀男 (大阪東)
同 宮田 宏章 (大阪北)

ガバナー月信 (10月号) により、2009年～2010年ガバナー・ノミニ候補者推薦を地区内全クラブに依頼を致しましたが、期日までにお申し出がありませんでした。

したがって、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約に基づき、2006年11月1日に開催された委員会において慎重審議の結果全員一致をもって、大阪西南ロータリークラブ会員 大谷 透君を2009年～2010年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニ候補者として推薦することに決定致しました。

これにより2007年1月10日、岩田 宙造ガバナーによって大谷 透君を2009年～2010年度ガバナー・ノミニとして宣言されました。 委員会の皆様にはご協力感謝致します。

意義ある業績賞委員会

委員長 神崎 茂 (大阪西)

委員 若林 紀男 (大阪東)

同 宮田 宏章 (大阪北)

RIの「意義ある業績賞」は、手続要覧に明示されている選定基準に基づいて手続きされるものです。その基準によりますと、地元地域社会の問題やニーズに取り組むもので単なる金銭による貢献のみならずクラブ会員の大多数が直接参加し、地域社会にロータリーイメージの向上に役立ち、他のロータリークラブの模範となるようなものでなければなりません。

本年度の本賞推薦方を地区全クラブにお願いし、締切期日までに4クラブから申請を受理致しました。例年になく申請数が少なかったことは残念でありました。本件を数回に亘って委員会によって慎重協議の結果、交野ロータリークラブの「環境フェスタ in 交野」を決定しRIに推薦することと致しました。

5月中には認定書が地区に届き、12月の地区大会で表彰状の贈呈が行われる予定です。

本プロジェクトは会員数33名の小規模クラブが全会員一丸となって協力し、全予算の大半を自ら負担し乍ら、地域社会のNPOその他市民団体の先頭に立って今日世界的課題である環境問題に取り組み、2,000人の市民を集めた盛大な行事となりロータリークラブのイメージを高めることが出来ました。本件は「ロータリーの友」6月号及び「ロータリーの友」英語版NO.65にも掲載されました。

国際大会記念事業委員会

特別顧問 近藤 雅 臣 (千 里)
 委員長 若林 紀 男 (大 阪 東)
 委 員 大谷 透 (大 阪 西 南)
 同 常楽寺 喜 雄 (東 大 阪 東)
 同 早 嶋 茂 (大 阪)
 同 長 澤 利 治 (茨 木)
 同 伊 藤 貞 男 (大 阪 東)

事業計画	実施状況及びコメント
大阪国際大会 成功記念植樹	第三セクター中之島高速鉄道(株)による中之島新線延伸工事が順調に進み、2009年開通を目指しております。記念植樹は大阪市が主体となって行う事になっており、本年度は連携をとる事を中心と致しました。
その他特記事項	委員の大谷透会員が2009～2010年度ガバナー・ノミネーに選ばれましたので、本年度をもって退任される事となりました。
一年間を振り返って	行政並びに第三セクター企業との連携が中心でありますので、情報の収集や、事業進捗状況の把握を主に行って参りました。来年度は、より具体的な折衝を含めた活動となる予定です。

ク ラ ブ 奉 仕 部 門

クラブ奉仕・拡大増強委員会

委員長 川上善司 (大阪平野)

副委員長 足立陽一 (大阪中央)

委員 稲田明人 (八尾)

同 松川雅典 (新大阪)

同 井上家昌 (東大阪東)

同 奥公男 (大阪イブニング)

同 南賀勝之 (大阪城南)

同 小寺潤一 (豊中)

同 藤澤肇 (大阪心斎橋)

事業計画	実施状況及びコメント
会員増強セミナーの開催	各クラブ会長、増強委員長の全員出席を頂き会員増強を図ろうと、亀岡弘 RRIMC より「会員の維持と増強」についての講演会とクラブが抱えている増強への課題を、3つのテーマに分けてバズセッションを行い、情報を共有出来た事により理解が深められ、クラブの会員増強に役立つことが出来た。 2660 地区 3月末現在で純増 76 名達成。
その他特記事項	クラブ奉仕・会員増強委員会活動の充実を図るため2ヶ月に一度開催し、各委員会毎に CLP や増強などの各テーマを決め、ロータリーについて、又クラブの活性化、会員増強や、組織強化など、地区委員会委員としての研鑽をした。

一年間を振り返って

今年度より、クラブ奉仕委員会と拡大・増強委員会が合同になり、各ガバナー補佐にお願いし、新しい委員を推薦して頂き、新委員会として発足致しました。

クラブ管理、運営、会員増強と委員会活動も多岐になり委員の構成で対応しました。会員増強の卓話に加え、今期は CLP の推奨や導入についての卓話や、フォーラムへの参加など多数のクラブからの依頼があり、委員会として多忙を極めました。委員の方々のご協力で有意義な活動が出来ました。

情報・広報委員会

委員長 左 藤 孜 (大阪南)
 副委員長 西 村 真一郎 (大阪西)
 委 員 谷 口 浩 (池田くれは)
 同 早 嶋 茂 (大阪)
 同 溝 手 敦 信 (大阪東)
 同 木 村 芳 樹 (大阪南)
 同 中 筋 一 朗 (大阪西)

事業計画	実施状況及びコメント
マスコミに対する 広報活動	情報広報委員長会議等にマスコミ関係者を招き、有効的な広報活動について参考意見を聞く。
マスコミに対する 広報活動	新聞放送メディアだけでなく広報活動を地方紙、タウン紙等にも広げきめ細かい広報活動に努める。
IT 時代にふさわしい 情報広報活動	ホームページ等 IT を活用しガバナー事務所を核にして、各クラブ会員と情報を共有すると共に情報のスピード化をはかる。
E メール並びにインターネットに関する 調査	各クラブの協力でアンケート 86 クラブから回答を得、今後の活動に役立てたい。
その他特記事項	一部クラブからの要望により IT 等についての卓話者を派遣する。
一年間を振り返って	情報広報と個人情報保護との関連等検討すべき課題も数多く残したが、次期委員に引継ぐ。

職 業 奉 仕 部 門

職業奉仕委員会

委員委員長会

委員長 岩 本 洋 子 (大阪そねざき)

副委員長 村 木 茂 (新 大 阪)

委 員 畑 田 耕 一 (豊 中)

同 上 田 耕 司 (大阪大手前)

事業計画	実施状況及びコメント
1. 小学校への出前授業の推進	<p>過去5年にわたって、小学校へのロータリアンによる出前授業のお願いをしてきました。少しずつ出前授業をして下さるクラブが増えています。</p> <p>そして、なぜ、小学校への出前授業なのか、という原点を忘れないようにしたいと考えています。</p>
2. 職業奉仕委員長会議	<p>「委員長会議に出て、面白かった。勉強になった。」と言えるような研修にしたいと心がけています。</p> <p>今年度は、日本のロータリアンで職業奉仕のお話をして頂くと最良と言われている深川純一先生にお出で頂き、職業奉仕各論、下請との関係、広告の真実、企業拡大などのお話をして頂きました。</p>
3. 職業奉仕のお話し集	<p>職業奉仕のお話し集を2660地区のホームページに掲載し、いつでも取り出して使えるようにしました。</p> <p>10月の職業奉仕月間などに活用して頂ければと思います。</p>
その他特記事項	特になし。
一年間を振り返って	<p>同じようなことをしているようでも、継続は力なり、と信じております。今後も、ロータリアンによる小学校への出前授業の推進・ロータリアンの職業モラルの向上とデータの集積をしていきたいと思ひます。</p>

社会奉仕部門

社会奉仕委員会

委員長 江上清夫（豊中千里）
 副委員長 浦川光雄（箕面中央）
 副委員長 樋上幸夫（摂津）
 委員 表寛治（池田くれは）
 同 宮田明（くずは）
 同 江藤光哉（大阪）
 同 由上時善（吹田西）

事業計画	実施状況及びコメント
第1回 社会奉仕委員長会議	7月22日薬業年金会館において、各RCより新年度委員長が出席され、岩田ガバナーより挨拶があり、続いて委員長より本年度の事業計画発表が盛大に行われた。
環境保全会議研修セミナー	11月20日千里阪急ホテルにおいて、岩田G、新谷GEを迎え、開催され、本年度大阪府環境賞に輝いた積水ハウス工業(株)より、環境の取り組みについて講演があった。
交通安全活動	毎年春の全国交通安全運動に参加し、本年も5月11日大阪府庁前に集合し、大阪府知事より府民全員が交通事故に遭わない様にと挨拶があり、タレントの上原多香子さんがオープンカーに乗り、パレードがあった。
献血街頭キャンペーン	献血運動については、各クラブで自主的に取り組んでおり、日本赤十字社と連携し、取り組んでいる。
その他特記事項	薬物乱用防止運動については、大阪府薬務課と連携し、各運動に協力している。 また、本年は能登半島地震被害者への義援金を各クラブの協力により取り組んだ。
一年間を振り返って	今年に入り、急遽、自殺防止センター、国際ビフレンダー協会に支援することになり、7月に入り、各ロータリークラブに対し、不行届きな点があり、申し訳なく思っております。 今後、各クラブにて自主的に取り組んで頂く旨、申し上げます。

青少年奉仕部門

新世代合同委員長会議

- 議長 井上 暎 夫 (千里)
 泉 博 朗 (大阪住吉)
 高橋 敏 朗 (守 口)
 田 中 啓 之 (大 東)
 徳岡 昭七郎 (大阪天満橋)
 溝 畑 正 信 (東 大 阪)
 加 藤 隆 (八 尾)
 北 川 哲 (大 阪 南)

事業計画	実施状況及びコメント
新世代OBによる新クラブの設立	メンバーの確保ができ、地区内クラブによるスポンサークラブの決定まで進捗 (報告時点)
各委員会間の協力	従来どおり行われた
<p>その他特記事項</p> <p>新クラブ設立には数々の障害があったが、ようやく先が見えてきた。ボイドRI会長も関心を寄せられ、渡辺RI理事を通じ、報告済みです。</p> <p>一年間を振り返って</p> <p>地区大会にて新世代を一堂に集めての、地区初めての会合を持ち、RI会長代理である李RI会長ノミニーとの質疑もあり有意義なものとなり、今後も続けてはとの印象を持った。</p>	

青少年活動委員会

委員長	泉 博 朗 (大阪住吉)
副委員長	田 中 信 明 (大阪鶴見)
副委員長	西 上 博 幸 (吹田江坂)
委 員	北 山 孝 和 (大阪中央)
同	金 本 恒二郎 (大阪天王寺)
同	門 田 雅 輝 (大阪東)
同	宮 次 重 郎 (大阪本町)
同	水 崎 勝 (寝屋川)
同	谷 間 庸 子 (大阪そねざき)
同	杉 本 昌 煥 (大阪北梅田)
同	土 井 靖 士 (大阪うつぼ)
同	岸 上 宏 司 (池 田)
同	上 野 晃 裕 (大阪梅田東)
同	岡 本 啓 吾 (大阪中之島)
同	田 中 俊 男 (大阪城)

1. ライラ (Rotary Youth Leadership Awards : 青少年指導者養成プログラム)

(1) 初級ライラ ホストクラブ : 大阪そねざき RC

(秋のライラ) 日 時 : 2006年10月7日(土) ~ 9日(月)

場 所 : 琵琶湖バレー

参加数 : 80名

登録数 : 417名

(2) 上級ライラ ホストクラブ : 大阪そねざき RC

プレキャンプ 日 時 : 2006年9月23日(土)

場 所 : 大阪駅前第一ビル研修室

本キャンプ 日 時 : 2006年10月7日(土) ~ 9日(月)

場 所 : 琵琶湖バレー

参加数 : 10名

(3) 初級ライラ ホストクラブ : 大阪北梅田 RC

(春のライラ) 日 時 : 2007年5月3日(木) ~ 5日(土)

場 所 : 大阪府立青少年海洋センター

参加数 : 81名

登録数 : 330名

2. 少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ : 寝屋川 RC

日 時：2006年8月4日（金）～6日（日）

場 所：寝屋川野外活動センター

参加数：94名

登録数：312名

(1) 新世代月間事前研修とニコニコキャンプ報告

日 時：2006年8月24日（木）

場 所：YMCA会館

参 加：69名

ニコニコキャンプ報告

幼児虐待についての講演

（阿倍野区役所 担当員）

(2) 第1回正副委員長会議

日 時：2006年10月7日（土）

場 所：大阪成蹊大学

参加数：84名

各クラブ今年度活動予定アンケートの配布

青少年奉仕のあり方について意見交換

(3) 第2回正副委員長会議とライラワークショップ

日 時：2007年5月26日（土）

場 所：関西大学 千里学舎

登録者数：79名

出席者数：64名

関西大学在校生（3、4年生）：72名

各クラブ今年度活動結果アンケートの配布

関西大学文学部と連携し在学生と共に語り合う

4. 国際ライラへの派遣

上級ライラ修了生のうち1名をソルトレークシティで実施される国際ライラ大会（6月13日～17日）に派遣

特記事項

今年は、初めての試みとして関西大学文学部と連携してライラワークショップをおこないました。今後ライラを大学と連携して実施することの試金石となりました。

一年を振り返って

ホストクラブ、委員各位、が活躍してくれましたので大へん充実した結果であったと思います。若者や参加ロータリアンの生き生きとした顔がわすれられません。特にホストを担っていただきましたロータリークラブの皆様にあたたかましてお礼申し上げます。

ローターアクト委員会

- 委員長 高橋 敏朗 (守 口)
- 副委員長 湯木 尚治 (大 阪)
- 副委員長 辻本 義一 (東 大 阪)
- 委 員 疋田 陽造 (吹 田)
- 同 井本 恵章 (大 阪 北)
- 同 坂田 哲男 (大阪御堂筋)
- 同 中北 清 (大 阪 南)
- 同 津本 清次 (大 阪 淀川)
- 同 吉岡 崇 (池 田)
- 同 山村 安德 (東大阪東)
- 同 岩本 和久 (大 阪 住吉)
- 同 中安 敬人 (大 阪 西)
- 同 池田 佳弘 (大 阪 梅田)

	事業計画	実施状況及びコメント
7/15	第1回正副委員長会議	OMM ビルでローターアクト未提唱クラブの青少年活動委員長さんも出席いただき 2660 地区としてのローターアクトの活動等を説明し理解を求める。
7/23	第1回献血、地区連絡協議会	多くのアクトとロータリアンの参加で献血をして頂いた。連絡協議会ではこれから始まる各クラブの行事等の協議会を行った。
8/31 ～ 9/3	海外研修	第4回アジア／太平洋地域ローターアクト会議に30名参加 リーダー地区 RI3810 地区フィリピン タガタイシチイ 参加メンバー達は国際交流が出来た事を大変喜んでいる。
9/10	全国統一アクトの日	盲導犬のお話を聞き、そして障害者の疑似体験をした参加者はホントにバリアフリーにしないと歩くのに怖さを感じた。
9/10	2640 地区 2660 地区交流会	今年は 2640 地区がホストをして堺市で交流会が行われた。この行事は毎年行われている。

2/4	4 地区合同情報交換集会	4 年ぶりに 2640、2650、2660、2680 が新大阪のチサンホテルに 2660 がホストで 310 名ほど集まり若人らしくいい雰囲気で行われた。今後も続けて行って欲しい。
2/10	第 2 回正副委員長会議	第 1 回と同様に参加者に来て頂いて、後期の行事への参加要請と説明をした。そして今回はガイドブックを配り説明をした。未提唱クラブ中には新しいクラブを作ろうと考えている所が出てきた。
2/18	第 2 回献血、地区連絡協議会	RAC の皆さんの後半の行事と前半の反省も兼ねて協議をした。
2/24 ～ 2/25	第 19 回全国ローターアクト研修会	2610 地区 RA がホストで研修会が行なわれ全国のアクター、RC の関係者が集まり次年度の紹介があり連帯の意識向上に大いに盛り上がった。
3/18	世界 RAC DAY	団体、集合、イメージ、等と動きも入れて何時もと少し違った感じでなかなか面白かった。
4/15	新旧理事役員研修会	新旧理事役員、各奉仕委員長が集まり次期理事役員の指導力研修で委員会別、役員別の分科会の中で今期の引継および次期への抱負、次期クラブ方針の確認をした。
4/19 ～ 4/20	年次大会	今年度は大会前の前夜祭を行い大いに賑わった。 本大会は 350 人位集まり盛大に行われた。 会場は池田の不死王閣で行われた。
6/10	地区リーダーシップ・フォーラム	理事、役員、各奉仕委員長が集まり代表およびゾーン活動方針、地区奉仕プロジェクト等の日程の発表を行った。
<p>その他特記事項</p> <p>少年少女ニコニコキャンプ、秋、春ライラ、北ゾーン行事、中ゾーン行事、南ゾーン行事に参加</p> <p>一年間を振り返って</p> <p>ローターアクトの委員長は大変です。しかし、その中で学ぶ事も多くありました。</p>		

インターアクト委員会

委員長	田中啓之 (大東)
副委員長	大戸道彦 (大阪住吉)
委員	上野昌也 (大阪)
同	西川和伸 (大阪南西)
同	谷野清孝 (大阪阪南)
同	廣内謙 (大阪南)
同	吉本憲司 (八尾)

事業計画	実施状況及びコメント
海外研修	8/3～8/8 担当；清風学園 提唱；大阪南 RC 研修先は D3350 地区（タイ王国）の A 高校を訪問し、IA の活動報告や教室、クラブ室訪問、場所を変えて現地 150 名の IA たちと RC メンバーが、地区を挙げて歓迎してくれた。タイ舞踊に対し即席ソーラン節の踊りを披露するなど、交流は尽きなかった。人懐こいタイの人たちの風俗や習慣を体感し、参加インターアクト者たちの目が輝いていた。
年次大会	11/23 担当；浪速中学高等学校 提唱；大阪住吉 RC 各校より IAC の年間活動報告があり、そのあと住吉区社会福祉協議会などの協力を得て障害者の方と一緒に風船バレーボールや、車椅子、アイマスクの体験など相手を思いやる気持ちを体感した一日だった。特にアイマスクはお互いの信頼も必要だと強く感じた。参加者約 140 名。
SCRUM 発行	3/19 担当；大阪桐蔭中学高等学校 提唱；大東 RC IAC の年間活動状況を報告誌としてまとめたのが、SCRUM # 32 です。活動内容が写真と感想文入りで、記載されております。機会がありましたらご一読ください。
新入生歓迎会	6/3 予定。担当；浪速中学高等学校 提唱；大阪住吉 RC 大阪府立総合青少年野外活動センターにてインターアクトクラブの新入生歓迎会を予定しております。豊かな人間性を育てるよい交流の場とする予定です。参加予定者 130 名。
各校個別活動	各校個別クラブ活動として、学校周辺の清掃や、花壇の整備、文化祭バザー献血運動や、盲導犬育成募金、アジアに井戸を募金、あしなが学生募金、WWF 募金、ユニセフ募金、赤い羽根募金、書き損じはがき回収などなどの奉仕活動や、クリーンハイキングなどの活動をそれぞれの学校で行っております。
その他特記事項	勉強に追われている生徒たちが、IAC の活動（特に海外研修）をしている時の目の輝きが生き生きしています。次の活動エネルギーが湧いてきたように感じました。
一年間を振り返って	勉強とクラブ活動を両立させる事について、特にインターアクトの活動が地域奉仕と国際理解を深めると共に、豊かな人間性を育てることに役立っていると実感しました。今後ともこの身近な生徒たちにご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

国際奉仕部門

国際奉仕委員会

委員長 盛田 三五 (大阪 東)
 副委員長 島井 宏子 (大阪北梅田)
 委員 佐野 吉彦 (大阪)
 同 乗光 孝明 (大阪住之江)
 同 藤村 達夫 (大阪 東)

事業計画	実施状況及びコメント
RIの発信する情報をweb siteより入手し、有効に活用する事業の構築	情報入手方法、活用事例を説明する為に、クラブ委員長会議を2回開催してパワーポイントを使い実演し活用を促進した。 参加者のほとんどがRIのweb site閲覧の経験が無く、情報の豊富さに感銘を受けた。
海外提携クラブの現状把握と提携の促進	現状を把握する為に、年度初めと年度末にアンケートを実施。 提携クラブを持つクラブが68%から73%に増加した。
国際大会への参加促進	大会最新情報及び開催地ソルトレークの情報を月信に掲載
その他特記事項	DLPの一環として、より効率的な地区運営を図る為に次年度より国際奉仕委員会と世界社会奉仕(WCS)委員会が合体し国際奉仕・WCS委員会となることが決定した。委員会を2年間担当した者として、二つの委員会は相互補完関係にあるので合体は極めて妥当な決定と理解し、歓迎します。
一年間を振り返って	地区国際奉仕委員会として行う事業は極めて限られており、何か新しい事業を立ち上げるべく検討し実施したのがRIの情報を各クラブで入手し日常のロータリー活動に活用できるシステムの構築でした。クラブの国際奉仕委員会が積極的に活用することを望みます。

世界社会奉仕委員会

委員長 植村 宏一郎 (大阪平野)
 副委員長 宮里 唯子 (茨木西)
 委員 芦邊 康徳 (大阪心斎橋)
 同 家村 武志 (吹田西)
 同 青山 快玄 (大阪北梅田)
 同 足立 善信 (吹田)
 同 小林 澄子 (守口イブニング)
 同 浅井 清彦 (大阪大淀)
 同 簡 仁一 (茨木)
 同 戸田 和孝 (大阪ちゃやまち)
 同 新谷 秀一 (池田くれは)

事業計画	実施状況及びコメント
年間 12 回の委員会を実施する	計画通り委員会を実施。活発な委員会活動の機動力となったと自負している。
クラブ WCS 委員長会議を 2 回実施	7月と3月に、実施。 第1回(2006年7月)会議では、WCS活動の積極参加を促し、MGやDDFの活用について、わかりやすい説明を行うと同時に、前期活動を2クラブに発表頂き、情報の共有化に努めた。 第2回(2007年3月)会議では、WCSや補助金活用の啓蒙と共に、今期の地区活動及び各クラブの総括的なWCS活動報告を行った。
海外視察旅行	モンゴル、ミャンマーにて前年度のプロジェクト効果の検証、及び新規プロジェクトの調査を行った。 タイにて、新年度の為のプロジェクトの調査を実施した。 インドネシアにて、地区プロジェクト「地震被害による学校再建プロジェクト」の完成式への参加、また来期プロジェクトの調査を実施した。
地区プロジェクトの実施	タイ：白内障治療プロジェクト…MG申請中 インドネシア：学校再建プロジェクト…2007年5月完成 インドネシア：歩道橋寄贈プロジェクト…MG申請中 ミャンマー：井戸プロジェクト…完了
地区内クラブのWCS活動の推進	地区内73クラブ独自のプロジェクトを実施し、7クラブが地区プロジェクトに参加した。総計約3,000万円が当地区からWCS活動に拠出されるという好結果となった。また補助金の活用も活発化し、今期18件のMG申請があり、うち12件はDDFの申請も行っている。

青少年交換委員会

	委員長	徳岡 昭七郎 (大阪天満橋)
	副委員長	植田 豊實 (箕面中央)
	委員	木村 忠夫 (大阪天満橋)
	同	岡田 俊作 (大阪本町)
	同	武市 智寿 (大阪鶴見)
	同	西野 博子 (大阪イブニング)
	同	三木 優 (大阪イブニング)
	同	土井 晶三 (高槻西)

事業計画	実施状況及びコメント
全国青少年交換委員長会議	5月12日、東京にて開催。 NPO法人化に向けての全国レベルでの動き、危機管理委員会・保険関連について協議。
青少年交換委員会	月1回程度、定期的に開催。 オリエンテーション後に開催することが多いため、来日・派遣学生の現状の把握に努められる。
派遣学生オリエンテーション	10月：選考会 11月：アプリケーション説明 12月：ロータリーに関する説明 1月：ロータリーに関する説明、英文自己紹介発表、ROTEXによる体験説明 3月：英文自己紹介発表、参加費用等説明 4月：保険、ビザ取得等説明 5月：ブレザー、名刺、ピン等説明・案内 7月：派遣に向けての抱負発表、派遣生の自覚確認
来日学生・ホスト関係者・クラブカウンセラーオリエンテーション	7月：受入関係者対象オリエンテーション 11月：来日学生・受入関係者に分かれたフリートーキング 2月：ダニー（USA ミネソタ）より学校生活について相談あり。本人とホストファミリー個別にミーティング 3月：ダニーの件、一時的に他校を経験する解決策にて落着 4～6月：次年度受入学生の書類処理にあたり、質問等受付

来日・派遣学生歓迎会	8月：今年度来日学生を地区内各クラブに紹介。また、前年度派遣の帰国学生の報告会も行い、各自の成長を確認。
来日・派遣学生歓送会	7月（予定）：今年度来日学生に修了証授与。ロータリー行事最後のもの。次年度派遣学生へは激励の意味も込めて、最終のものとなる。
ROTEX クリスマス会	12月：より来日学生を多くの方々に知ってもらう為、彼らの特技披露の場とする。また、次年度派遣学生がオリエンテーション以外の行事初参加となるので、暖かい雰囲気作りで行う。
スキー研修旅行	3月：長野県白馬にて。17名参加。 悪天候にも拘らず、怪我人が出ることもなく終了。特に、来日学生、派遣学生間の交流が進んだ。
広島研修旅行	4月：姫路～四国～広島。19名参加。 2泊3日で開催。宿泊行事で時間にも追われないため、学生の緊張感はあまり見られない。忘れ物が多い等、自己管理が出来ていない学生も見られる為、今後のオリエンテーションでの注意の必要を感じる。
<p>その他特記事項</p> <p>学生への連絡事項が届いてない等の不備が見られることがあった為、ガバナー事務所～委員会～各ロータリークラブ事務局～関係家庭への連絡方法を確実にすることが必要。</p>	
<p>一年間を振り返って</p> <p>大きな問題もなく1年間を過ごすことが出来、安心している。1年前と比較すると、来日学生の精神面・語学面での成長が顕著に表れており、改めて当プログラムの青少年育成に貢献する価値を高く評価する。派遣学生に関しては、現時点ではやはり未熟な点や心配な点、甘え等見受けられるが、派遣生活に対して大きく夢を抱き、無事修了して帰国することを願う。</p> <p>オリエンテーションや卓話等を通じ、ROTEX 活動の活性化にも取り組む。</p> <p>地区内においては、より多くのクラブからのプログラム理解・参加を促すため、積極的な卓話等を求めたいと感じる。</p> <p>また、以上には全て、ROTEX の援助が大いに寄与していることを広く認識していただきたいと思う。</p>	

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会

委員長 佐藤 俊一 (大阪鶴見)
 委員 溝畑 正信 (東大阪)
 同 福家 宏 (八尾中央)
 同 加藤 隆 (八尾)
 同 井川 孝三 (八尾)

事業計画	実施状況及びコメント
06～07年度地区協議会	サブリーダーとしてロータリー財団活動の内容を次年度クラブ財団委員長に紹介
地区財団セミナーの協力	ガバナー主催として、クラブ会長、幹事、財団委員長の出席のもと財団の研修会を行った
クラブ財団委員長会議	クラブ委員長の出席のもと、主として財団の寄付金について全員が参加、討論を行った
07～08年度のためのシェア会議	DDFの分配についてのシェア会議を行い、次年度活動資金についての協議を行った
<p>その他特記事項</p> <p>夏と秋の地域財団セミナーに事務局員を含め多数の参加があり、RI財団からの最新の情報を得ることができた</p> <p>一年間を振り返って</p> <p>事務局員の退職に伴う事務引継ぎの混乱があったが、各委員長の指導のもと有能な事務局員が引き継ぐことになり、なんとか無事に委員会が終了する見通しがつきそうで関係者のご努力に感謝する。</p>	

財団情報・増進委員会

委員長 井川孝三 (八尾)
副委員長 北村 讓 (大阪中之島)
委員 津和章雄 (大阪城南)
同 吉岡康雄 (大阪西北)
同 松本周作 (大阪北)

財団の4委員会と連携を密にしながら、地区各クラブの財団委員会を通じてロータリー財団情報を提供し、財団活動に対する理解と浸透に努力した。

1. 委員会開催

- 1 8月10日 財団セミナーの為の準備
- 2 9月28日 財団委員長会議の準備
- 3 2月8日 シェア会議に向けての打ち合わせ

2. 地区財団セミナー

- ・8月19日(土) 大阪YMCAにて各クラブ会長、幹事、財団委員長を対象にした当地区主催のロータリー財団セミナーが開催されました。
ロータリー財団の活動プログラムに対する理解を深めてもらい、財団寄付の増進を図った。

3. 委員長会議

- ・10月21日(土) OMMビルにて開催
11月のロータリー財団月間で、各クラブ委員長がどのような活動をするのかディスカッションをした。
映像を使って地区ホームページの紹介をしました。
ロータリークレジットカード入会の案内をした。

4. ロータリー財団月間

- ・当地区の年次寄付額の減少、DDFのシェアダウンによる地区財政難を強調し増進を訴えた。

5. DDFシェア会議

- ・2008～2009年度の為のシェア会議を行いました。

財団奨学金・学友委員会

委員長	溝 畑 正 信 (東大阪東)
副委員長	梅 崎 道 夫 (大阪城南)
委 員	丹 羽 一 郎 (大阪東)
同	栢 本 義 臣 (吹田西)
同	河 野 眞一郎 (大阪北)
同	山 下 勝 弘 (東大阪)
同	高 田 利 美 (大阪フレンド)

事業計画	実施状況及びコメント
1. 2007~2008年度財団国際親善奨学生に対するオリエンテーション	<p>2007～08年度奨学生候補者に対し3回オリエンテーションを行った。 2006年9月2日(土)第1回オリエンテーションおよび歓迎会(薬業年金会館) 講話1.「ロータリーについて」 パストガバナー 若林紀男 2.「いつまでも夢を追いかけて～カナダ留学から16年経って～」 元財団奨学生 上村雄彦</p> <p>PSC主催による財団奨学生歓迎会、帰国報告会 2007年3月3日(土)第2回オリエンテーション(大阪企業家ミュージアム:大阪産業創造館B1)、見学と講話 講話:「大阪商人の企業家精神と大阪企業家ミュージアム」大阪企業家ミュージアム事務局長 坂上義明</p> <p>PSC主催による留学情報交換会、帰国報告会 2007年6月30日(土)第3回オリエンテーションおよび歓送会 講話1:佐藤俊一財団委員長「国際親善と日本文化の紹介」 講話2:2005～07年度世界フェロー 寺西悦子さん 「世界平和フェロシップについて」 帰国奨学生の報告会、歓送会 オリエンテーションの詳細については、ガバナー月信にその都度掲載</p>
2. 2006~2007年度奨学生	<p>2006~2007年度派遣奨学生7名(うちマルチイヤー1名)はそれぞれの国に留学中。アメリカ、イタリア、フランス、インド、アルゼンチン、ベルギーで、勉学と国際親善の目的を果たすことを期待されている。また、2005~2007年度世界平和フェローの寺西悦子さんはオーストラリア・クイーンズランド大学大学院政治科学・国際問題研究科の修士課程で学んでいる。 単年度の奨学生は間もなく帰国する。</p>
3. 2008~2009年度奨学生	2008~2009年度ロータリー財団国際親善奨学生6名を選考した。
4. 来日財団国際親善奨学生	Draper James Glynn君(アメリカ、5830地区)は、2006年1月23日に来日、1年間関西外国語大学に学んで帰国した。ホストクラブ 大阪鶴見RC

5. 来日文化研修生	Jackson Colleen さん (アメリカ、7690 地区) ホストクラブ 大阪東 RC (2006 年 6 月 3 日来日～同年 8 月 31 日帰国) Hsu Wei Mei さん (台湾、3500 地区) ホストクラブ 吹田西 RC (2007 年 1 月 11 日来日～同年 3 月 24 日帰国) Alcantara Ana さん (カナダ、5370 地区) ホストクラブ 大阪城南 RC (2007 年 1 月 12 日来日～同年 4 月 10 日帰国)
6. 財団月間での卓話	3 件
7. PSC (財団学友) 活動	奨学生候補者に対する支援 (オリエンテーション、PSC 例会、メーリングリストを通じて) 奨学生の歓迎会、帰国奨学生の帰国歓迎会、奨学生歓送会、忘年会、交流会 財団月間での卓話協力 (PSC 9 件) 地区ホームページに「PSC だより」の掲載
8. 会合	委員会、地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議、地区財団委員会、新世代合同委員長会議、財団地域セミナー、国際大会での財団学友セミナー、世界平和シンポジウム
その他特記事項	新世代による RC 設立に参画
<p>一年間を振り返って</p> <p>ロータリーは第二世紀に入り、財団活動の重要性は益々増加している。一方、残念ながら、財団への寄付金の減少、DDF の配分額減少により、派遣学生数は年々低下している。2008~09 年度の奨学生は 6 名しか選考できず、多数の優秀な国際親善奨学生候補を各クラブより推薦頂きながら、大変厳しい状況になっている。一方また、選考基準となる語学レベルが上昇してきており、世界に通用する人材が求められている事も事実である。</p>	

研究グループ交換委員会

委員長	加藤	隆	(八尾)
副委員長	田中	潤治	(大阪西北)
副委員長	野村	正勝	(箕面中央)
委員	吉崎	広江	(東大阪東)
同	吉川	邦英	(大阪)
同	武田	太郎	(大阪南)
同	松井	隆雄	(大阪天王寺)
同	新谷	秀一	(池田くれは)

委員会方針

- ① 財団部門の委員会としてプログラムの推進を通して地区内全クラブ及びロータリアンに財団への興味、理解と協力を深める事を第一義とする。
- ② DLP 方針に基づき、委員3年、委員長、副委員長も単年度もしくは短期として、新しいリーダーを育てることに全面的に協力する運営とする。
- ③ 上記①、②とも概ね達成できたと確信します。

活動報告

- ① 財団月間を中心としてアルムニ会メンバーによる卓話を地区内クラブで行なった。
- ② 本年度はトルコ、アンカラ地区 (D2430) との単年度派遣、受入の交換を行なった。

受入

トルコ GSE チーム

団長	アリ・パデイール
団員	アリ・センゲル
	シトゥキ・カラブルト
	ベンギス・カブラール (女性)
	エフレン・アクゲツ (女性)

3月24日来日 4月21日帰国

受入は滞在4週間をIM単位で担当し、週別受入実行委員会を組織して地区GSE委員会の指導と助言でホームステイ家庭、職業研修始め一般研修等のホストクラブ及びプログラムを策定し、地区委員会では英文への翻訳と総合日程表を作成し地区内に配布し、トルコチームへの研修を行なう(週別受入実行委員長、副委員長も全てに参画してもらった)。

委員会予算の低減に伴い全ての支出を再検討した結果、歓迎会、送迎会とも質素を旨としたが、参加者の感動と情熱で大変素晴らしい受入をまっとうできました。

派遣

2660 地区 GSE チーム

- (団長 田中 潤治 (大阪西北)
- (団員 小林 隆一 (大阪西北)
- (生田 英輔 (大阪天王寺)
- (牧 香代子 (大阪船場)
- (樺原 佳代子 (大阪南)
- (団員 () 内は推薦 RC)

出発 5月6日 帰国 6月5日

滞在中にテロ事件が発生したが、スケジュール的に離れた地域であったので全員何事もなく無事でありました。

- ④ GSE アルムニ会の運営を確認しながら、過去の派遣チームの一員として得た経験と感動を常に新しい派遣、受入実施にあたって助言と協力をしてもらうような体制を今後とも維持していく。

財団法人道的補助金委員会

000.02	委員長	福家宏 (八尾中央)
000.02	副委員長	横井憲二 (八尾)
000.02	委員	岩津陽介 (大阪御堂筋)
000.02	同	辻川功一 (大阪中央)
000.02	同	寺本美津子 (大阪そねざき)
000.02	同	山本雅昭 (大阪北)

2006-07年度 人道的分野への DDF 配分額は \$115,000 である。

このうち地区補助金に \$55,000 マッチング・グラントに \$60,000 が配分された。

プロジェクトへの DDF 配分状況 (5月15日現在)

(1) 地区補助金 (District Simplified Grant)

1	大阪平野	老人福祉センターに AED 寄贈	¥171,000
2	大阪阿倍野	ハノイ郊外小学校に教育機材、備品寄贈	¥135,000
3	大阪東南	公園に八重桜植樹	¥200,010
4	東大阪東	児童福祉施設の児童にレクリエーションの提供	¥185,125
5	吹田西	地域音楽振興のためのコンサートと子供たちへの楽器寄贈	¥228,000
6	八尾中央	市内全小学生に、鉛筆持ち方矯正具寄贈と教育講演会	¥236,000
7	箕面中央	子供達のための紙芝居祭に、芝居舞台とビデオカメラ寄贈	¥145,000
8	八尾東	子供達に物づくり体験のためのイベント	¥165,400
9	四条畷	子供達への「早ね早起き朝ごはん元気な挨拶運動」支援	¥148,200
10	大東中央	薬物乱用防止教室開催	¥224,790
11	大阪平野	ベトナム・ダナン省台風被災住民支援	¥109,000
12	大阪中央	「葦」の刈り取り作業に労働奉仕	¥142,780
13	大阪ちゃやまち	老人ホームに介護用機器を寄贈	¥147,210
14	茨木	重度身体障害児とその親のためのコンサート	¥107,750
15	大阪南	被虐待児収容施設にレクリエーション用具を寄贈	¥215,132
16	東大阪	地域活性のための住民フォーラム (ラグビーの町)	¥236,000
17	八尾	市内の野外活動センターに桜の植樹	¥354,000
18	大阪鶴見	ベトナム・クアンニン省養護施設にベッド、机、椅子など寄贈	¥304,800
19	大阪南西	介護老人保健施設に車椅子を寄贈	¥150,000
20	東大阪	青少年のためのクラシックコンサート	¥236,000
21	大阪阪南	重症心身障害児、肢体不自由児施設に医療機器寄贈	¥149,860

合 計 ¥3,991,057

利用可能な地区補助金総額は \$55,000 (\$1.00 = ¥118) ¥6,490,000 であり、利用率は金額ベースで 61.5% クラブ数ベースで 22.3% (延べ数で 24.7%) (参考: 05-06 年度利用率は金額では 61.22% クラブ数では 30.2%)

(2) マッチング・グラント (Matching Grant)

*1	大阪梅田	台湾苗栗県 Mei-Yuang 村の水源改善計画	\$5,000
*2	大阪西南	韓国 釜山郊外の村落 飲料水確保	\$3,000
*3	豊中	タイ カンチャナブリ 小学校に書籍本棚パソコン寄贈	\$2,500
*4	豊中	タイ カンチャナブリ 浄水設備	\$2,500
*5	大東中央	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	\$5,000
*6	大阪淀川	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	\$5,000
7	大阪南	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	\$4,000
8	守口イブニング	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	\$ 4,600
9	茨木	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	\$10,000
10	大阪ユニバーサルシティ	僻地の老人の白内障治療	\$7,000
11	八尾東	フィリピンの僻地にミルクの供与	\$1,500
12	門真	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	\$5,000
合 計			\$55,100

利用可能なマッチング・グラント総額は \$60,000(\$1.00 = ¥118) 利用率は金額ベースで 94.3% クラブ数ベースで 16.5% (参考：05-06 年度利用率は金額では 34.3% クラブ数では 7.0%) ただし、ここに示したすべてのプロジェクトが承認されるものとして出した数値であり、現時点での承認件数は、*6 件である。

地区補助金の利用率が減少しているのに対し、マッチング・グラントの利用率は上昇した。

000,241 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	大東中央大	7
000,281 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	八尾東大	8
000,282 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	豊中四	9
000,283 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	10
000,284 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	11
000,285 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	12
000,286 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	13
000,287 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	14
000,288 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	15
000,289 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	16
000,290 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	17
000,291 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	18
000,292 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	19
000,293 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	20
000,294 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	21
000,295 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	22
000,296 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	23
000,297 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	24
000,298 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	25
000,299 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	26
000,300 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	27
000,301 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	28
000,302 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	29
000,303 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	30
000,304 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	31
000,305 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	32
000,306 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	33
000,307 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	34
000,308 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	35
000,309 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	36
000,310 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	37
000,311 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	38
000,312 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	39
000,313 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	40
000,314 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	41
000,315 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	42
000,316 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	43
000,317 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	44
000,318 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	45
000,319 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	46
000,320 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	47
000,321 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	48
000,322 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	49
000,323 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	50
000,324 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	51
000,325 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	52
000,326 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	53
000,327 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	54
000,328 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	55
000,329 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	56
000,330 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	57
000,331 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	58
000,332 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	59
000,333 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	60
000,334 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	61
000,335 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	62
000,336 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	63
000,337 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	64
000,338 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	65
000,339 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	66
000,340 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	67
000,341 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	68
000,342 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	69
000,343 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	70
000,344 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	71
000,345 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	72
000,346 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	73
000,347 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	74
000,348 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	75
000,349 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	76
000,350 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	77
000,351 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	78
000,352 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	79
000,353 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	80
000,354 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	81
000,355 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	82
000,356 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	83
000,357 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	84
000,358 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	85
000,359 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	86
000,360 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	87
000,361 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	88
000,362 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	89
000,363 ¥	モンゴル 軽犯罪刑務所 井戸掘削	守口イブニング大	90
000,364 ¥	大阪の中古歩道橋をインドネシアへ	茨木大	91
000,365 ¥	僻地の老人の白内障治療	ユニバーサル大	92
000,366 ¥	フィリピンの僻地にミルクの供与	八尾東大	93
000,367 ¥	ネパールの僻地にバイオガス・プラント設置	門真大	94
000,368 ¥	調査で大阪府下で活動する台湾籍学生、ボランティア等による地域の発展を支援する	豊中四	95
000,369 ¥	インドネシアの農村部における飲料水確保プロジェクト	大南大	96
000,370 ¥	タイ（バンコク）の農村部における飲料水確保プロジェクト	大東中央大	97
000,371 ¥	台湾 南投県久美小学校パソコンと楽器の寄贈	大東中央大	98
000,372 ¥	サモア Saleaamue 小学校 学習教材寄贈	淀川大	99
000,373 ¥	マレーシア コタキナバル 貯水タンク パイプ設置	大南大	100

米山奨学部門

米山奨学委員会

	委員長	北川	哲	(大阪南)
	副委員長	岡田	義昭	(大阪淀川)
	委員	池田	文治	(大東中央)
	同	奥谷	英夫	(千里)
	同	笠原	隆之助	(茨木)
	同	北川	忠嗣	(東大阪東)
	同	村橋	義晃	(大阪中之島)
	同	磯田	郁子	(大阪東淀)
	同	青木	達也	(大阪西南)
	同	野村	泰弘	(大阪西)

事業計画	実施状況及びコメント
応募者の選考	<p>2005 - 2006 年度の方針どおり、ロータリアンだけで選考を実施した。結果、2006 年度では東南アジア地区からの一国 1 名の応募者が 100% 合格した。北東アジア以外の応募者合格率は全国平均 59.5% と比較して高かったのに反し、中国籍の学生は 32% と、全国平均 35.5% に比し低かったので、次年度の反省点になった。</p>
委員会の組織化	<p>委員長、副委員長、委員の役割を決め、奉仕活動の分担により平等性を保ち、定期的な委員会開催と議事録の保存を実施するよう内規を作成し、その通り実施した。</p> <p>年度初めに、委員長、副委員長、委員の任期をそれぞれ 3, 3, 5 年としたが、DLP の指針により、年度末には 1, 1, 3 年に変更した。毎年委員長が交代ということになると、米山奨学委員会の恒常的な運営を保つためには、詳細な事業マニュアルが必要になり、本年度は副委員長のマニュアルを 1 年がかりで作成した。委員長の行動マニュアルは次年度に作成する予定である。</p> <p>委員長の任期が 1 年、且つ米山奨学委員会事業が支障なく運営されるためには、どうしてもこれが必要である。</p>

<p>学友の追跡調査</p>	<p>2005 - 2006 年度から学友会をとおして実施中であるが、指定大学から個人情報得られず、学友相互の連絡網だけに頼ってきたので、容易には進展しなかった。</p> <p>大阪淀川 RC では、元カウンセラーが中心になって過去の奨学生を追跡調査し、連絡をとったところ、数年間音信不通であった学友と連絡がとれるようになったので、次年度は元カウンセラーが積極的にこちらからアプローチする方法をカウンセラー研修会で討議する予定である。</p>
<p>寄付金の依頼</p>	<p>2660 地区は毎年約 8000 万円の寄付があり、奨学生の地区への割当てがこの額によって決定されるので、地区協議会その他の場で寄付の依頼をする予定である。</p>
<p>その他特記事項：</p> <p>大阪箕面中央 RC および大阪船場 RC が事例報告してもよいほどの熱心な奉仕活動をしたので、詳細は省きますが RC 名をこの報告書に記載させていただきます。</p> <p>米山奨学委員会として衷心より感謝申し上げます。</p>	
<p>一年間を振り返って：</p> <p>米山奨学委員会は米山奨学会からの要望、指示があり、その上地区からの依頼もあって命令系統が二重になっている。委員会としては双方の方針を受けとめ、両者に矛盾しないように奉仕活動する点が、若干他の委員会とことなると思われる。</p> <p>今後もこれまでの経験を生かし、次年度にバトンを渡すつもりである。</p>	

地 区 大 会

委員長 平岡英信(大阪南)

副委員長 小谷公穂(大阪南)

幹事 鈴木慶一(大阪南)

プログラム 武田太郎(大阪南)

2660 地区 2006～7年度地区大会は、平成18年12月8日(金)～12月9日(土)大阪国際会議場及びリーガロイヤルホテルにおいて開催されました。本大会はRI会長方針を基に「『率先しよう』—ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を」を大会テーマと致しました。RI会長代理には李東健氏をお迎えし、2740名のご登録を頂き、盛会裡のうちに終了致しました。

◎大会第1日目

○会長幹事懇談会

「これからのロータリー活動、CLPの重要性について」というテーマでパネルディスカッションを行い、CLPについて活発な討議がなされました。最後に大会決議案が採決されました。

○RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

343名の方のご登録のもと、李東健氏ご夫妻を歓迎した韓国太鼓マダンによる演奏やNew OSK日本歌劇団によるレビュー「Royal Dreaming」を楽しんで頂きました。

◎大会2日目

○部門別事例研究Ⅰ クラブ奉仕(家族のつどい)

「歴史からみた大阪～浪速の民活～」松平 定知氏

○部門別研究Ⅱ 職業奉仕/社会奉仕

「明日への発想学～今、ロータリーに求められているもの～」岡野 雅行氏

○部門別研究Ⅲ 国際奉仕

「情熱が世界を変える～NPO活動の最前線から～」木山 啓子氏

○部門別研究会Ⅳ 青少年奉仕

「生涯現役～子どもたちにかける夢～」村田 兆治氏

○本会議及び記念講演

上記、4分科会の後、本会議が開催され、各種表彰並びに諸報告の後、大会決議案が無事採択されました。

最後に寺島実郎氏による記念講演「世界の潮流と日本の進路」があり、最後まで皆様熱心に聞き入って頂き、無事閉会となりました。

今回の地区大会も、皆様の多大なご協力により無事終えることができました。本当にありがとうございました。関係各位にあらためて御礼を申し上げます。

ロータリーの友

地区委員 木村 芳樹 (大阪 南)

ロータリアンの義務の一つにロータリー雑誌（地域雑誌）の講読があります。日本における地域雑誌は『ロータリーの友』誌です。この『友』誌はガバナーの委嘱により地区委員が発行するとされています。地区委員は各地区ガバナーに任命・委嘱されそのガバナーの意向を伝える役目があります。

地区委員はガバナーまた地区ロータリアンの意見を受け止め、ロータリーの友合同会議に出席し、意見を述べ、また毎月の『友』誌の感想と要望をレポートし提出します。また地区に対して読書率の向上を図るため活動する必要があります。

- 毎月の『友』誌を身近に感じていただき、読書率向上のため、『友』誌に掲載されている2660地区関係の記事を中心にガイドを作成し、地区内86各クラブの雑誌・広報委員会に送付しました。
- 地区情報・広報委員長会議において、『友』誌の精読とその活用、そして『友』誌への記事の投稿を依頼しました。
- 地区ホームページに「ロータリーの友」のコーナーを設け、各クラブでの利用の促進を図りました。
- 毎月の『友』誌の感想と要望のレポート提出。
- 『友』誌の『地区だより』の原稿を編集し、投稿しました。
- 地区大会の速報の投稿。
- 4月の『ロータリー雑誌月間』では4RCにおいて卓話を担当。『友』誌の歴史や、掲載された地区関係の記事の紹介と投稿のお願いなどをテーマに卓話をさせていただきました。
- また年五回のロータリーの友地区委員合同会議に出席し、意見を述べました。

ロータリーの友地区委員は地区組織の中には表示されますが、地区内での立場は非常にあいまいです。幸い『ガバナー月信』並びに『地区ホームページ』担当の地区幹事、並びに地区情報広報の委員も兼任させていただきその関係でかなりの協力も得られましたがそうでなければ活動の場が非常に限られます。今後一考の必要があるかと思われます。

『友』地区委員としてはレポート提出も滞り不良委員といえますが、地区内各クラブの雑誌・広報委員長や地区委員会の皆さんとの関係が保たれ、『友』誌の読書率の向上に少しは活動できたかなと思います。皆様のご協力に感謝して報告とさせていただきます。

財務委員会

委員長 湯 浅 光 章 (大 阪 南)

委員 松 尾 雅 明 (大 阪 西)

同 北 野 紀 之 (池 田)

会 計 飯 井 克 典 (大 阪 南)

地区予算の緊縮化を図ろうとされたここ数年の財務委員会の努力を踏襲し、さらなる支出の削減を目標にしていまいりました。ガバナーの「2006 - 2007 年度 2660 地区運営・活動方針」に基づき、地区活動の効率化と予算の削減を基本に、活動規模については効率化を求めつつ継続性を保ち、各クラブの負担を増加させないように、以下の活動方針の下、地区会計の健全性に努めてまいりました。

(活動方針)

- (1) 各クラブ主体による地区活動の効率化と予算削減
- (2) 基金勘定・特別会計の整理統合による予算の明瞭性の確保
- (3) 予算の精緻化による予備費の一元管理と機動的対応

本年度の決算概要は下記の通りです。

(1) 一般会計

● 地区運営資金

収入が予算編成時の見込み会員数(4000名)より若干増加し増収であり45,215,033円となりました。支出に関しても、地区ガバナー事務局員の交代又コンピューターの買換え、また経費削減のため、小会議室を設置等の特別な支出もありましたが、その他の経費を出来る限り削減した結果、支出合計は39,905,846円となりました。当初単年度赤字予算を策定いたしましたでしたが、皆様のおかげを持ちまして、収入増、支出を予算内で収まった結果として、当期収支差額は5,309,187円となり、繰越金を増加させて次期に引き継ぐことが出来ました。

● 地区活動資金

収入に関しては、地区運営資金同様に、会員数の増加に伴い増収であり、33,916,487円となりました。各委員会の活動に伴う支出に関しては、予備費を一元管理し、機動的に対応するという方針で参りましたが、予備費の支出には事前の検討会を個別に持つ等で、適切に運用できたと考えております。各委員会が予算内で活動するように努めていただきました結果、

青少年奉仕部門で、予算超過があり、一元管理しておりました予備費から1,007,629円の使用はありましたが、総支出32,137,717円とすることが出来ました。収入増とあいまって、当期収支差額を1,778,770円とすることが出来ました。次期繰越金は、予算時の単年度赤字とはならず、当期収支差額を加え、27,966,818円とし次期に繰り越すことが出来ることとなりました。

以上の結果、次期繰越金は地区運営資金が18,070,775円、地区活動資金が27,966,818円で、合計46,037,593円となりました。一般会計に関しては、予算規模に比して、繰越金残高が経費削減策を各委員会の削減努力および、ガバナー事務所経費削減により、前年より7,087,957円増加し、今後の活動に支障ないレベルになったものと思います。

(2) 特別会計及び基金

● 地区大会資金

前年度繰越金5,854,333円と今年度地区資金20,975,000円を地区大会会計に充当しました。収支については、地区大会報告にもありますように特殊要因はありましたが、前神崎年度より引継いだ繰越金について、249,369円を増額して6,103,702円として次年度に繰越が可能になりました。

● 世界社会奉仕基金

当年度は、活発な活動の結果1,081,382円を次年度へ繰り越しました。

● RI 規定審議会派遣積立金

前年度よりの繰越金400,000円に当期850,000円を積み立てました。本年度、派遣事業を行いました。経費削減に協力していただいた結果、848,600円の支出ですみました。RI規定審議会は、3年ごとに開催されるため、残額401,400円を次年度に繰り越しました。

● 地区基金

前年から引き継いだ金額、20,000,044円を、地区財政に健全化の基金であるため、20,000,000円と定め、次期に繰り越しました。差額を当期利得の利子と合算し、19,673円を地区運営資金に組み入れました。

● 地区広報活動基金

前年度より引継ぎました当該基金2,718,362円は、基金勘定、特別勘定の整理と予算の明瞭化という基本方針に従い、一般会計の地区活動資金に組み入れました。

以上の結果、特別会計及び基金の繰越残高は、27,586,484円となりました。

当年度は、当初単年度赤字予算でスタートいたしましたが、各委員会の経費削減努力が実り、一般会計、特別会計及び基金合計の次期繰越金は、合計で73,624,077円となりました。コンピューターを更新し、月次の決算の精度を上げ、現金預金収支及び残高管理を行って参りました。複式簿記による管理手法を入れ、決算の精度が上がったものと思います。また各委員会とのコンタクトの増加（GE及び委員長会議等）により予算精度が向上したものと考えております。今後、資金管理の精度向上を考え、地区基金も財政健全化のために、定額にて確保できている状況から、繰越資金合計の残高を考慮し、今後適切有効な利用・使用等について検討する余地があるものと考えます。

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書

2006年7月1日～2007年6月30日

ガバナー 岩田 宙造
地区財務委員長 湯浅 光章
地区会計 飯井 克典

地区運営資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実績	備 考
1. 地区資金	38,000,000	39,517,625	
2. R I助成金	2,000,000	2,353,665	
3. 雑収入	2,800,000	3,343,743	地区協議会剰余金 2,398,460円を含む
収入合計	42,800,000	45,215,033	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実績	備 考
A. 負担金			
1. ガバナー会	800,000	888,600	
2. ロータリー文庫	1,200,000	1,236,850	
3. 平和奨学生支援協力金	60,000	62,235	
小 計	2,060,000	2,187,685	
B. 会議費			
1. 地区チームLTS	70,000	66,355	
2. 会長エレクトLTS	800,000	597,421	
3. 地区合同委員会	1,000,000	1,013,097	
4. 財団セミナー	450,000	496,700	
5. DGPGGE会議	1,000,000	92,220	
6. G補佐・地区幹事会	50,000	8,104	
7. GE国際協議会	730,000	119,540	
8. 予備費	100,000	0	
小 計	4,200,000	2,393,437	
C. ガバナー事務所費	31,480,000	30,145,462	内訳別掲
D. ガバナー月信費	5,500,000	5,052,177	
E. ガバナー補佐経費	300,000	27,085	
F. 直前DG記念品	100,000	100,000	
G. 総予備費	160,000	0	
支出合計	43,800,000	39,905,846	
収支差額	-1,000,000	5,309,187	
前年度繰越金	5,753,469	12,761,588	
次年度繰越金	4,753,469	18,070,775	

ガバナー事務所経費

(単位:円)

科 目	予算額	実績	備 考
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,371,904	
2. 給料・手当	19,000,000	18,045,700	
3. 厚生費	2,000,000	2,032,824	
4. コンピューター関係費用	300,000	834,614	
5. DGGE交通会合費	600,000	417,673	
6. 印刷費	1,400,000	1,326,880	
7. 交通通信費	1,500,000	1,354,117	
8. 文献費	100,000	89,635	
9. 事務用品費	800,000	579,235	
10. 什器備品費	200,000	191,170	
11. 雑 費	1,000,000	901,710	
12. 予備費	80,000	0	
合 計	31,480,000	30,145,462	

地区活動資金

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
1. 地区資金	30,000,000	31,198,125	
2. 地区広報基金振り戻し	2,718,362	2,718,362	
収入合計	32,718,362	33,916,487	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	実 績	備 考
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	50,000	0	
2. 意義ある業績賞(委)	30,000	0	
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕・拡大増強(委)	400,000	350,399	
情報・広報(委)	50,000	53,561	
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	100,000	86,292	
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	700,000	708,862	
6. 青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	10,000	31,915	
	21,915		予備費使用
青少年活動(委)	8,000,000	8,003,579	
ローターアクト(委)	5,420,000	6,405,714	
	985,714		予備費使用
インターアクト(委)	2,280,000	2,229,963	
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	100,000	9,131	
世界社会奉仕(委)	413,000	173,948	
青少年交換(委)	8,215,000	7,511,092	
8. ローターリー財団部門			
ロータリー財団(委)	100,000	95,367	
財団情報・増進(委)	50,000	26,438	
財団奨学金・学友(委)	1,200,000	717,537	
研究グループ交換(委)	2,000,000	2,057,904	
財団人道的補助金(委)	100,000	35,076	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	430,000	390,939	
10. RI規定審議会派遣積立金	850,000	850,000	
11. 予備費	3,300,000	0	
	-1,007,629		申請2件
小 計	33,798,000	29,737,717	
B. RI会長DG強調事業費	500,000	0	
C. I.M広報活動補助金	2,400,000	2,400,000	
支出合計	36,698,000	32,137,717	
収支差額	-3,979,638	1,778,770	
前年度繰越金	21,780,892	26,188,048	
次年度繰越金	17,801,254	27,966,818	

特別会計

1. 地区大会資金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	0	5,854,333	
地区資金	20,000,000	20,975,000	
地区大会会計へ	20,000,000	20,975,000	
地区大会会計から戻入	0	249,369	
次年度繰越金	0	6,103,702	

※地区大会会計の詳細については地区大会記録集に収支計算書を掲載しております。

2. 米山奨学生活動費

米山奨学委員会
委員長：北川 哲

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
(財)米山記念奨学会より	2,700,000	1,740,000	
選考試験補助金		517,500	
カウンセラー研修会補助金		140,000	
レクリエーション登録料		425,000	
米山奨学歓送会登録料		105,000	
受取利息		735	
収入合計	2,700,000	2,928,235	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
米山活動費	2,700,000	46,867	
カウンセラー研修会		32,457	
情報交換会		945,000	
レクリエーション		12,750	
選考会		694,690	
歓送会		460,097	
オリエンテーション		700,600	
米山奨学会学友会支援		35,774	
(財)米山記念奨学会へ返金			
支出合計	2,700,000	2,928,235	
収支差額	0	0	
前年度繰越金	0	0	
次年度繰越金	0	0	

3. 世界社会奉仕基金

世界社会奉仕委員会
委員長：植村 宏一郎

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
クラブ抛入金		2,236,300	
受取利息		187	
収入合計		2,236,487	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
プロジェクト資金		1,635,963	
送金手数料		61	
支出合計		1,636,024	
収支差額		600,463	
前年度繰越金	3,223,404	480,919	
次年度繰越金	3,223,404	1,081,382	

4. R I 規定審議会派遣積立金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	200,000	400,000	
地区活動資金繰り入れ	850,000	850,000	
実際派遣事業	1,050,000	848,600	
次年度繰越金	0	401,400	

地区基金

(単位:円)

科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	20,000,044	20,000,044	
受取利息	0	19,629	
地区運営資金へ繰り入れ	0	44	
利息を地区運営資金へ繰り入れ	0	19,629	
次年度繰越金	20,000,044	20,000,000	

地区広報基金

(単位:円)


科目	予算額	実績	備考
前年度繰越金	2,718,362	2,718,362	
地区活動資金繰り入れ	2,718,362	2,718,362	
次年度繰越金	0	0	

監査報告

私は、国際ロータリー第2660地区の2006～2007年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2007年 8月 29日

会計監査

鯉田勝巳 

林恭造 

